

入札公告

次のとおり総合評価落札方式による一般競争入札に付します。

令和3年2月25日

国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所 管理部門長 渡邊 朝生

1. 調達内容

- (1) 調達件名及び数量 「スルメイカ漁場一斉調査Ⅱ」に係る用船一式
- (2) 調達仕様 入札説明書による。
- (3) 履行期間 自) 令和3年6月14日
至) 令和3年7月9日
- (4) 履行場所 入札説明書による。
- (5) 入札方法 入札と金額は、用船料の額を1ケ月分たのみにあわせ、かつ消費税を別として、入札金額に算入する。入札金額は、入札説明書の「入札金額」欄に記載されている金額を基に算出する。入札金額は、入札説明書の「入札金額」欄に記載されている金額を基に算出する。入札金額は、入札説明書の「入札金額」欄に記載されている金額を基に算出する。

2. 競争参加資格

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構 第1項及び第3条の2に定める競争参加資格を有する者。
- (2) 平成31年度国等が「A」「B」「C」の区分に属する事業者であること。また、当該事業者が「A」「B」「C」の区分に属する事業者であること。
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構の業務に支障を及ぼすおそれがある者でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成30年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者でないこと。

3. 入札説明書等の交付方法

- 入札説明書等（入札説明書、仕様書、見積書、入札票、入札金納付書）は、本所（〒250-0292 神奈川県横浜市中区磯子4-5-1）にて配布する。配布時間は、令和3年2月25日（金）午前9時から午後5時（午後5時以降は入札説明書等の配布は行わない）とする。入札説明書等の配布場所は、本所（〒250-0292 神奈川県横浜市中区磯子4-5-1）とする。入札説明書等の配布方法は、本所（〒250-0292 神奈川県横浜市中区磯子4-5-1）にて配布する。配布時間は、令和3年2月25日（金）午前9時から午後5時（午後5時以降は入札説明書等の配布は行わない）とする。入札説明書等の配布場所は、本所（〒250-0292 神奈川県横浜市中区磯子4-5-1）とする。入札説明書等の配布方法は、本所（〒250-0292 神奈川県横浜市中区磯子4-5-1）にて配布する。

4. 入札説明会の日時及び場所等

- 入札説明会は、令和3年2月25日（金）午前9時から午後5時（午後5時以降は入札説明書の配布は行わない）とする。入札説明会の開催場所は、本所（〒250-0292 神奈川県横浜市中区磯子4-5-1）とする。入札説明会の参加費は、入札説明書の「入札説明会参加費」欄に記載されている金額を基に算出する。入札説明会の参加方法は、本所（〒250-0292 神奈川県横浜市中区磯子4-5-1）にて配布する。配布時間は、令和3年2月25日（金）午前9時から午後5時（午後5時以降は入札説明書等の配布は行わない）とする。入札説明書等の配布場所は、本所（〒250-0292 神奈川県横浜市中区磯子4-5-1）とする。入札説明書等の配布方法は、本所（〒250-0292 神奈川県横浜市中区磯子4-5-1）にて配布する。

用 船 仕 様 書

1. 調 査 名 : スルメイカ漁場一斉調査Ⅱ

2. 調査目的・概要

日本海における道県の調査船との漁場一斉調査の一環として実施し、釣獲データをスルメイカ秋季発生系群の資源量推定に活用するとともに、海洋環境やスルメイカの生物情報、標識放流による分布回遊のデータを取得する。既存の調査体制に本調査を加えることにより、観測点を増加させ、また欠測をなすことにより資源量推定精度の向上に資する。

3. 調 査 内 容

*各調査点において下記の調査を日中に実施する。

①メモリーCTDによる観測 (34点, 全点)

- ・メモリーCTDを用いた水温・塩分観測(水深0~1,000m深まで)を行う。機器取付及びウインチ操作は乗組員が行い、取得したデータ読出整理は調査員と調査担当乗組員が行う。
- ・メモリーCTD観測中に、採水バケツを用いて表面採水(塩分測定用)と棒状温度計による表面水温測定を行う。採水、測温は乗組員が行う。
- ・本調査で使用する採水バケツ、棒状温度計は当機構が用意する。

②自動イカ釣り機によるスルメイカ釣獲調査(17点)

- ・各イカ釣り調査点において、1夜(原則として8時間。状況によって試験時間を変更することができる)、自動イカ釣り機(2連式)によるスルメイカの釣獲試験を行う。釣獲試験終了後、漁獲されたスルメイカの個体数、および漁獲努力量を集計し、各試験実施点のCPUE(釣機1台1時間あたりの漁獲個体数)を求める。
- ・各釣獲試験点においてスルメイカを100個体無作為に抽出し、外套背長、体重の測定、雌雄の判別、交接の有無および成熟度の判定を行う。うち50個体は、生殖腺重量、外套膜重量、肝臓重量も測定する。また、頭部は平衡石分析に供するため冷凍標本として持ち帰る。また、必要に応じ、別途採集した個体を冷凍標本として持ち帰る場合がある。

③その他(調査点 34点, 全点)

- ・一般気象と海象観測(天候・風向・風力・気温・気圧・波浪・うねり)をブリッジにおいて乗組員が記録用紙に記載する。記録用紙は当機構が用意する。

4. 調査必要装備(本調査を実施可能な機能を有し、用船期間中に使用可能な状態(精密機器の校正等含む)で船舶に整備されていること。)

① CTD ウインチ 1台

- ・上記3. ①

② メモリーCTD(水深1,000m以深まで測定可能なもの) 1台

- ・上記3. ①

③ 自動イカ釣り機(水深120mまで降下可能なもの。シーアンカー、集魚灯を含む) 4台

- ・上記3. ②

④ 冷凍設備 約200リットル

- ・調査サンプルを保存するため、冷凍温度-20℃以下の温度設定可能及び上記の体積を確保した冷凍設備を有すること。なお、冷却システム等は問わない。

5. 総 ト ン 数 300トン以下

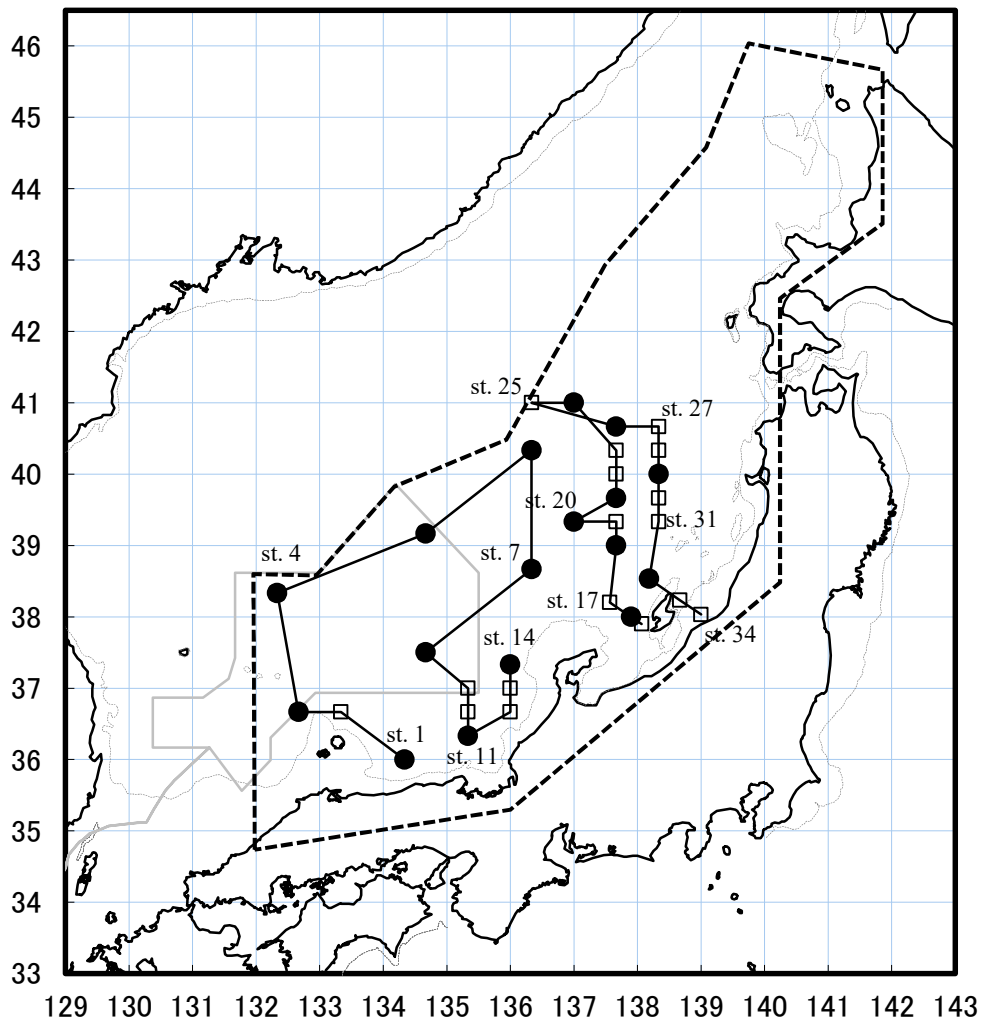
6. 乗船調査員数（同時期に乗船する最大調査員数） 1名

7. 用 船 期 間 令和3年6月14日～令和3年7月9日

8. 運 航 予 定 令和3. 6. 14 用船開始（境港）、調査機材等搬入、調査準備
 令和3. 6. 15 境港出港
 令和3. 6. 25 金沢港入港、調査員交替
 令和3. 6. 26 金沢港出港
 令和3. 7. 8 新潟港入港
 令和3. 7. 9 調査機材等搬出、給油、用船解除（新潟港）

9. 調 査 海 域 日本海中部海域

10. 調査海域図



●、□は調査定点 細点線は日韓暫定措置水域の範囲を示す。

●は1晩8時間のいか釣り調査+CTD観測点。 □はCTDのみ観測点。

気象・海況条件および共同運航する他調査船の調査点消化状況に応じて、太点線枠内での観測/調査点（いか釣り調査を含む）の追加や変更がある可能性がある。

11. 担当研究所 水産資源研究所 浮魚資源部 浮魚第3グループ（新潟）

12. その他

①詳細については担当職員の指示に従うこと。

②運航にあたっては、第三者所有漁具等への事故が発生しないよう細心の注意を払うものとする。なお、運航に関する事項については、本仕様書に定めるもののほか別添「漁業調査船に関する用船仕様書」によるものとする。

③用船契約期間中に消費した燃油は当機構が別途供給するものとする。